

女川原子力発電所 1号機第 15 回定期検査主要機器点検情報

No. 6

1. 件名： 高圧注水系タービン蒸気加減弁駆動機構の部品の変形について
2. 月日： 平成14年 9月19日(木)(発生 (発見) 確認)
3. 場所： 原子炉建屋
4. 設備： 高圧注水系
非常用炉心冷却系 (ECCS) を構成するものの一つで、原子炉冷却系配管の異常時に、高圧力で冷却水を炉内に注入する系。
5. 所見：
・高圧注水系タービン^{注1}蒸気加減弁^{注2}駆動機構のうち、全長約14cmの棒状の部品^{注3}を、点検工場へ搬出する際に、変形させた(約5mmの曲がり)ことが分かりました。

・変形の生じた部品は、新品に取り替えることとしています。

・今後、輸送する際の部品の取扱いについては十分注意するよう、注意喚起することとしました。

注1：高圧注水系タービン

高圧力で冷却水を炉内に注入するポンプを回転させるタービン。

注2：蒸気加減弁

タービンを回転させる蒸気量を制御する弁。

注3：駆動機構のうち棒状の部品

蒸気加減弁の開度を調整するための駆動機構において、駆動力を伝達する部品(連結棒)。

高压注水系概略図

